

令和6年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査

結果と考察



神石高原町教育委員会

目 次

調 査 対 象 者 別

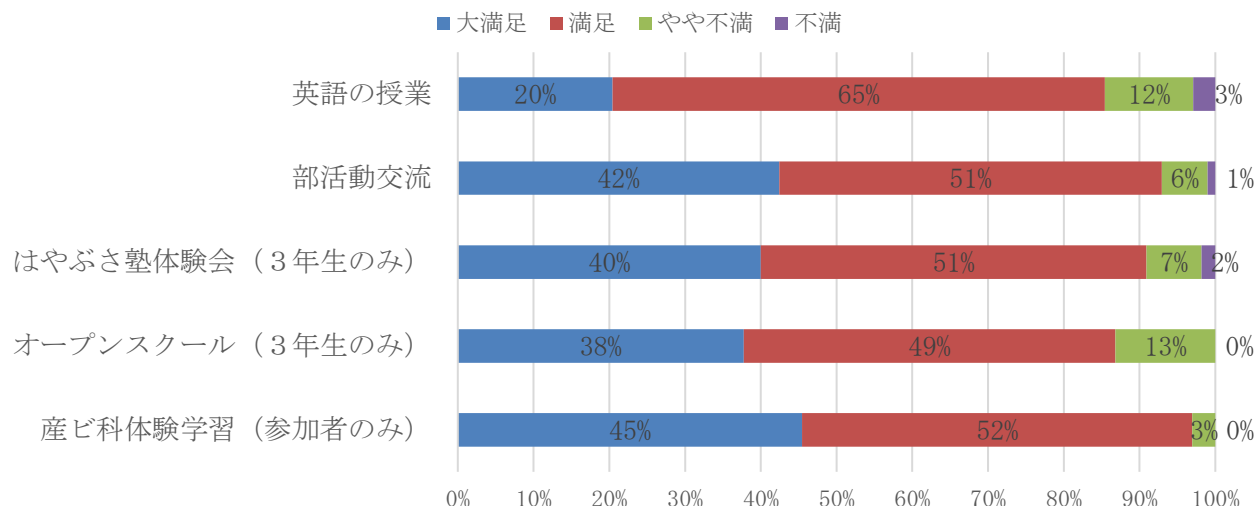
	ページ
1. 中学生 編	2 ～ 6
2. 高校生 編	7 ～ 15
3. 中・高教職員 編	16 ～ 17
4. 小・中保護者 編	18 ～ 22
5. 地域 編	23 ～ 24
6. 資料（アンケート結果の推移、入学率等の推移）	25 ～ 27

回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 145 人	／ 在 籍 者 数	162 人
2. 高 校 生	回答者数 158 人	／ 在 籍 者 数	166 人
3. 中・高教職員	回答者数 53 人	／ 全教職員数	59 人
4. 小 学 校 保 護 者	回答者数 125 人	／ 対象児童数	142 人
5. 中 学 校 保 護 者	回答者数 144 人	／ 生 徒 総 数	162 人
6. 地 域	回答者数 81 人	／ 質 問 者 数	95 人

1. 中学生 編

- 1 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、該当する項目について、その感想を教えてください。

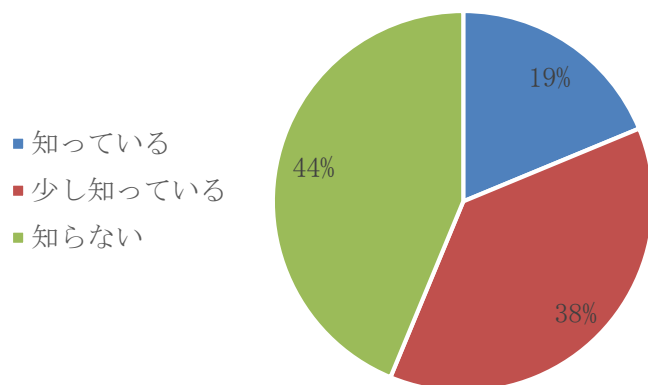


（考察）全ての項目において、肯定的評価「大満足・やや満足」が大変高い評価であるが、交流授業で実施している英語の「大満足」度は低くなっている。

交流授業は連携型中高一貫教育校では欠かせない実践項目であり、今後、町研教科部会等で授業交流・授業研究などしながら有効策を追及していく必要があると思われる。

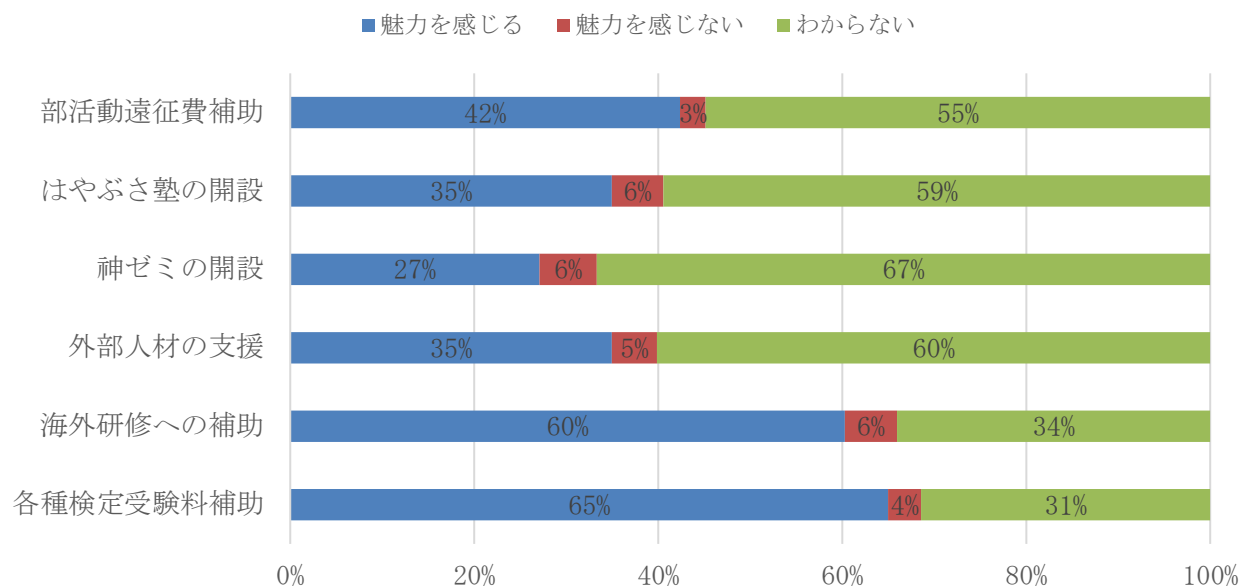
- 2 神石高原町では「油木高校の魅力づくり」として、色々な支援（部活動遠征費補助・学習支援塾「はやぶさ塾」＆「神ゼミ」の開設・外部人材（スポーツトレーナー）の活用・海外＜短期・長期＞研修事業への支援・各種検定受験料の補助）などを実施していますが、そのことについて次の質問に教えてください。

(1) 油木高校への色々な支援内容について知っていますか。



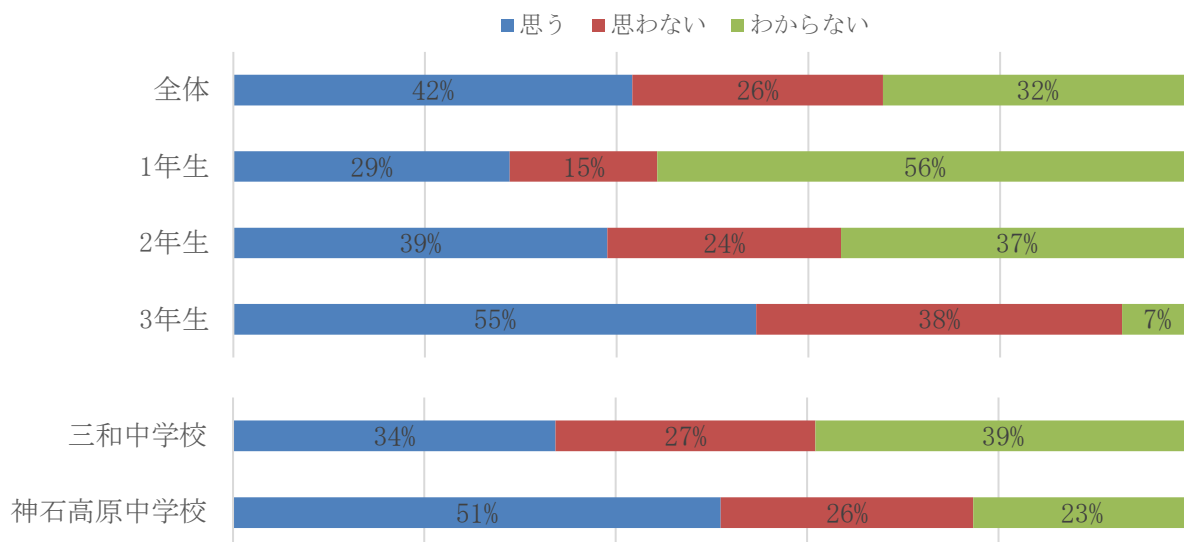
（考察）支援内容の認知度は 57% で、引き続き全中学生へのリーフレットの配布や、進路説明会で「町からの支援内容」について説明を継続していく必要がある。

(2) 次のような支援についてどう思いますか。(2 中学校計)



(考察) 2 校全体では、「魅力を感じる」が 60%以上のものは、海外研修への補助、各種検定受験料の補助の 2 項目であった。

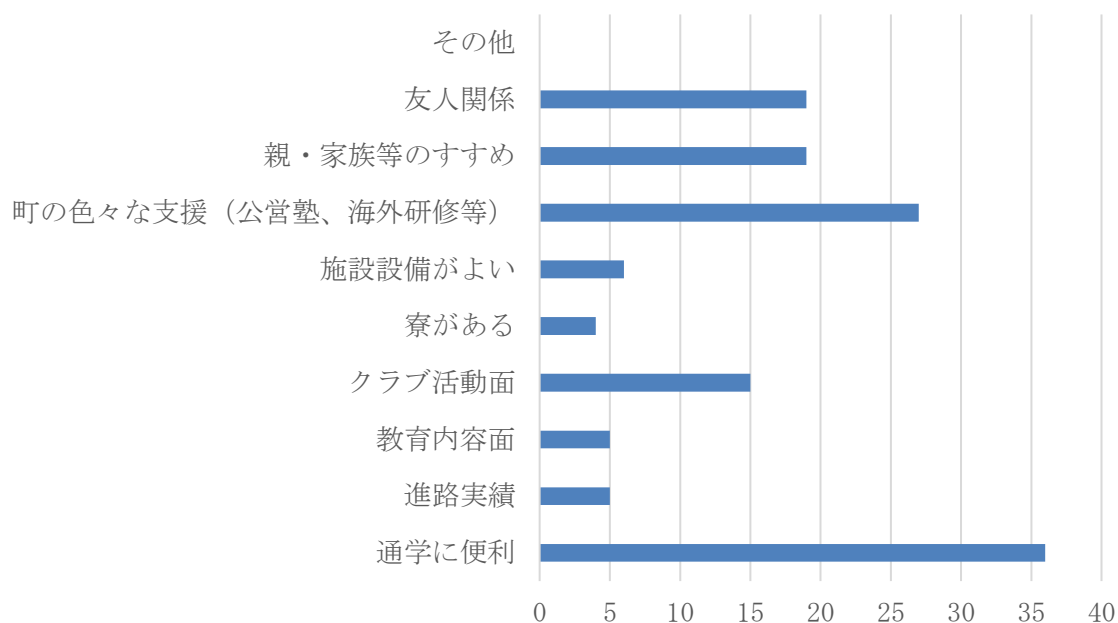
3 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。



(考察) 2 校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は 41% (前年 50%、前々年 53%) で減少傾向にある。今後、生徒数が減少していく中で、連携校からの地元率 50%以上を確保していく必要がある。

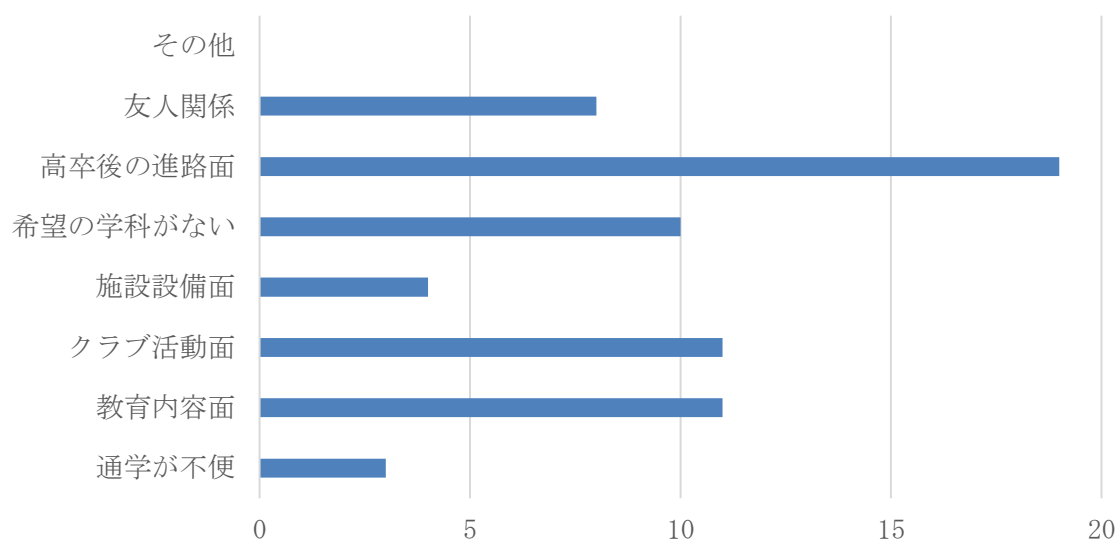
全体の学年別でも、3 年生の「思う」が 55%で (R5 年 76%、R4 年 62%、R3 年 66%、R2 年 61%、R1 年 61%)、一つの目標数値である 60%以上を維持する必要がある。

(2) 3(1)の質問で「油木高校へ進学したいと思う」と答えた人で、その理由とはなんですか。
(複数回答可)



(考察) 2校全体で多い順は、1位「通学に便利」、2位「町の色々な支援」、3位「親・家族等の薦め」「友人関係」であった。

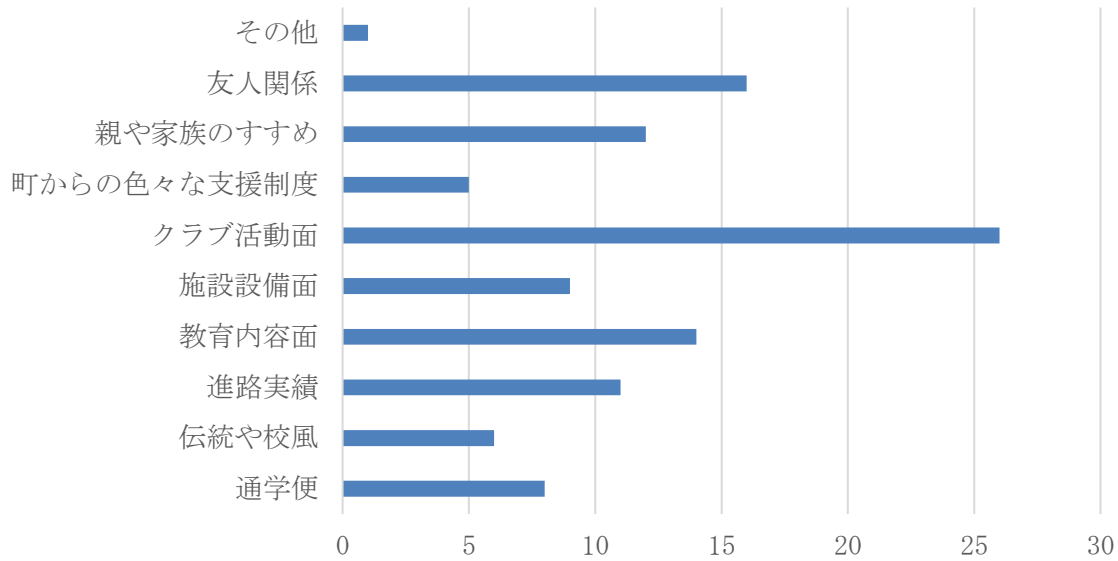
(3) 3(1)の質問で「油木高校へ進学したいと思わない」と答えた人で、その理由は何ですか。
(複数回答可)



(考察) 2校全体で多いのは、1位「高卒後の進路面」、2位「教育内容面」「クラブ活動面」、3位「希望の学科がない」となっており、例年とあまり差異はない。本年度も油木高校へ進学したいと思わない理由の中で「高卒後の進路面」が一番多い。

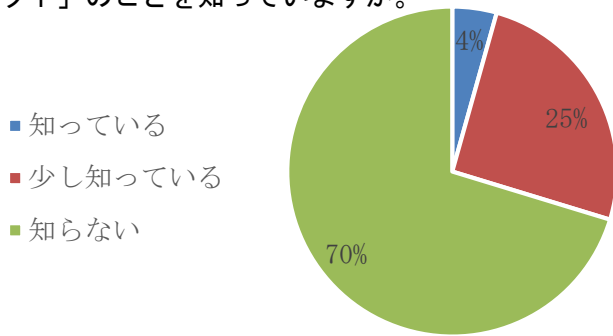
町内中学校での進路説明会時等に「油木高校卒業後の進路面」について、もっと丁寧に詳細な説明を行っていく必要があると思われる。

(4) 3(1)の質問で「わからない」と答えた人で、今後、自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことを2つ選んでください。



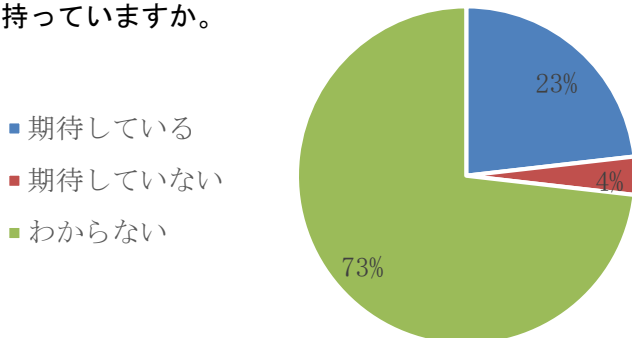
（考察）2校全体で多い順は、1位「クラブ活動面」、2位「友人関係」、3位「教育内容面」となっており、学校ホームページ等で油木高校の魅力を周知する必要がある。

4 (1) 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために、「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」に取り組んでおり、その具体策（「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」 など）を実施していますが、その「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」のことを知っていますか。



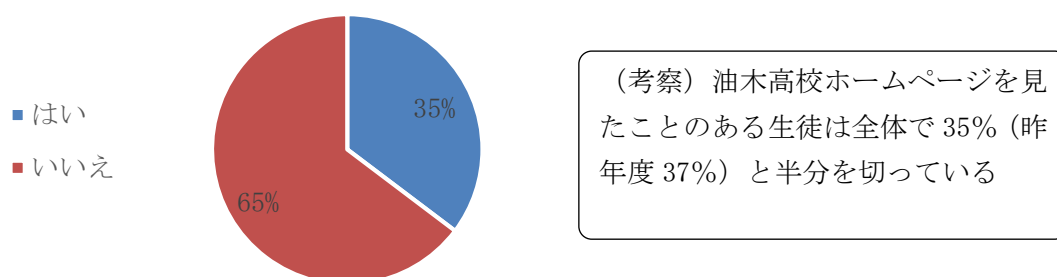
（考察）中学生の認知度「知っている・少し知っている」は、全体で29%（昨年40%、一昨年33%）で、まだまだ知らない人が多く、認知度上げる取り組みを今後も粘り強く取り組んでいく必要がある。

(2) 「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」に期待感を持っていますか。

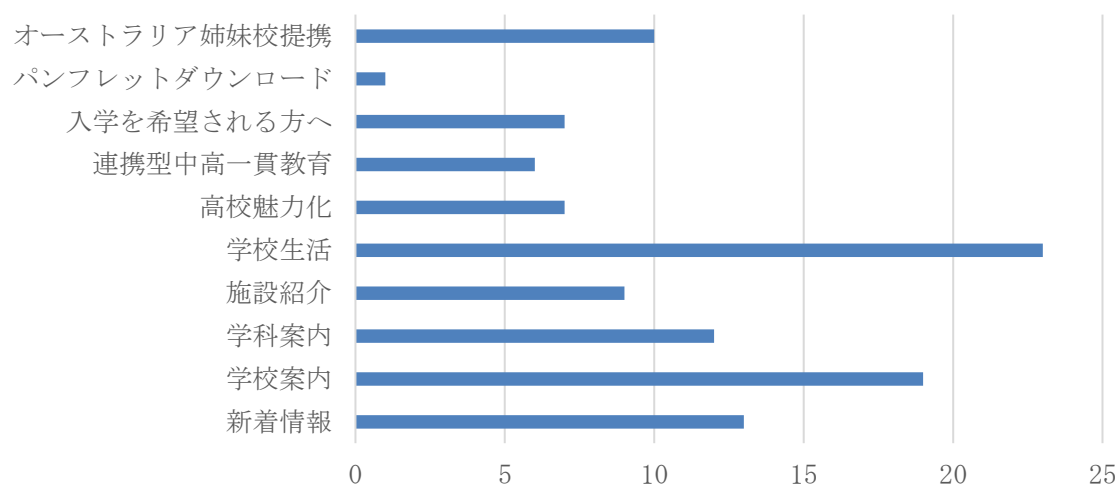


また、中身を十分知らない中で、期待度を上げることが難しいため、油木高校魅力化の取り組みを周知する必要がある。

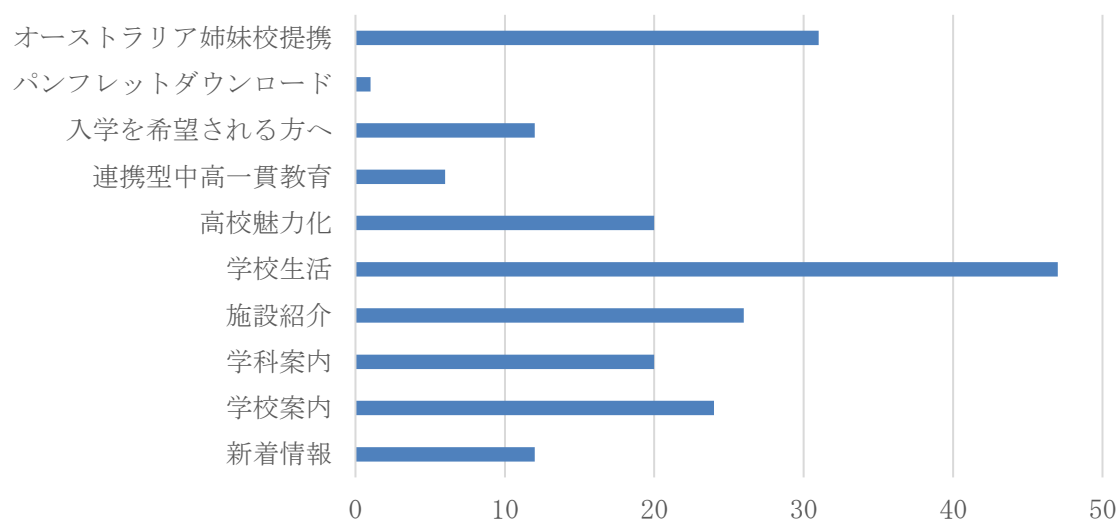
5 (1) 油木高校のホームページを見たことがありますか。



(2) 上記 5 (1) の質問で「はい」と答えた人は、どのコーナーに興味・関心を持って見ましたか。



(3) 上記 5 (1) の質問で「いいえ」と答えた人は、コーナーに興味・関心がありますか。

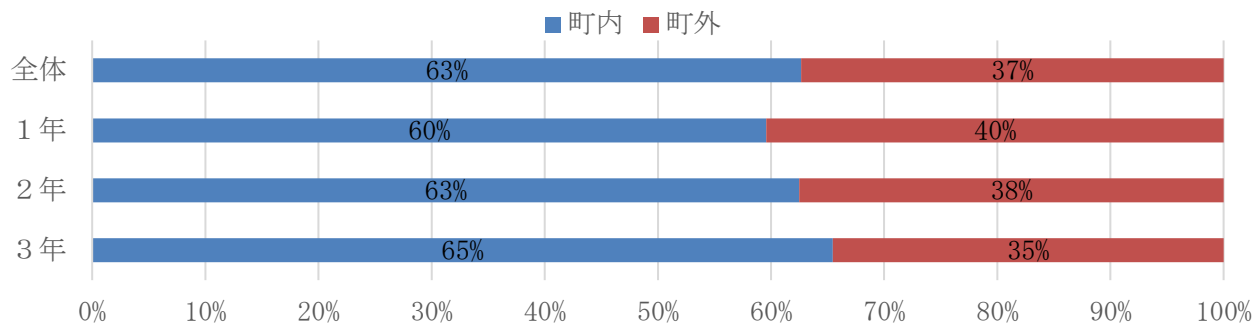


(考察) 見たことがある生徒で興味関心の高いものとしては、1 位「学校生活」、2 位「学校案内」、3 位「新着情報」で、例年同じような傾向にある。見たことがない生徒では、興味関心の高いものとしては、1 位「学校生活」、2 位：「オーストラリア姉妹校提携」、3 位「施設紹介」の順で、「見たことがある生徒」とあまり大差はなく、例年同様である。

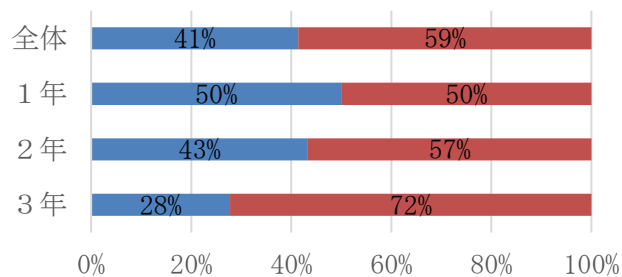
2. 油木高校生 編

1 あなたの出身中学校はどちらですか。

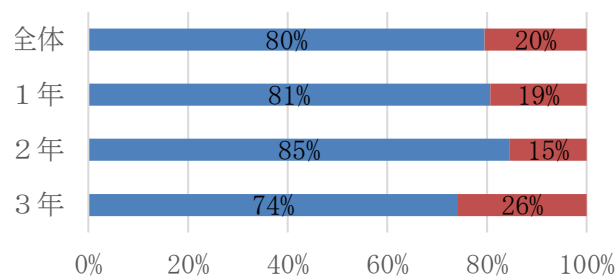
<全体：学年別>



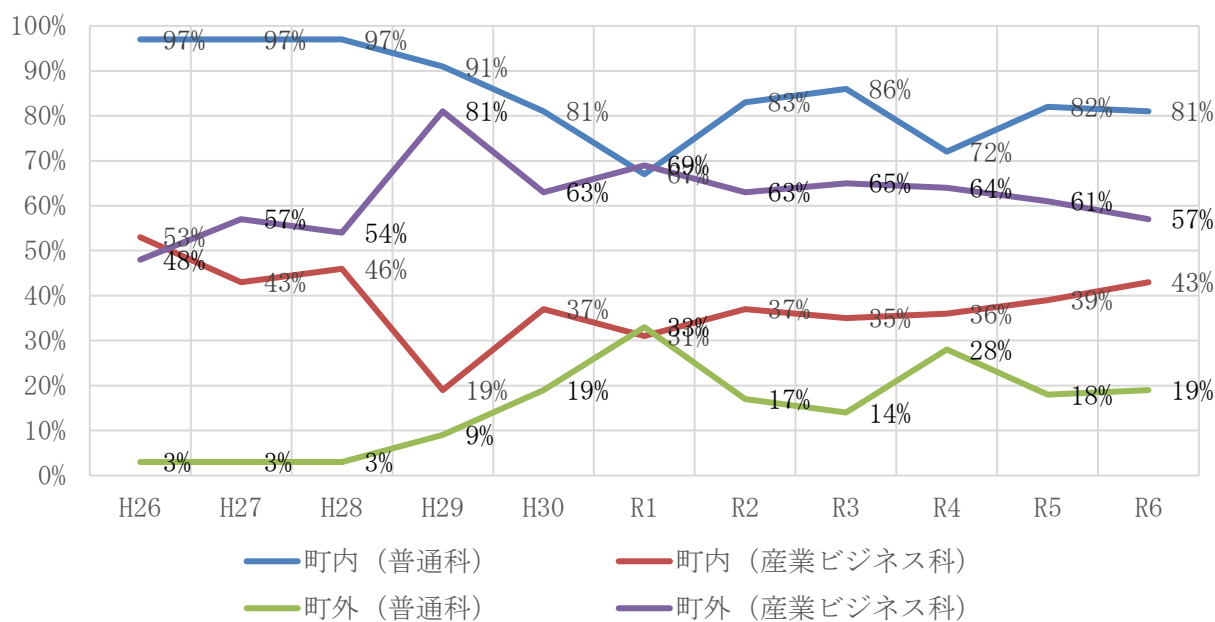
<産業ビジネス科>



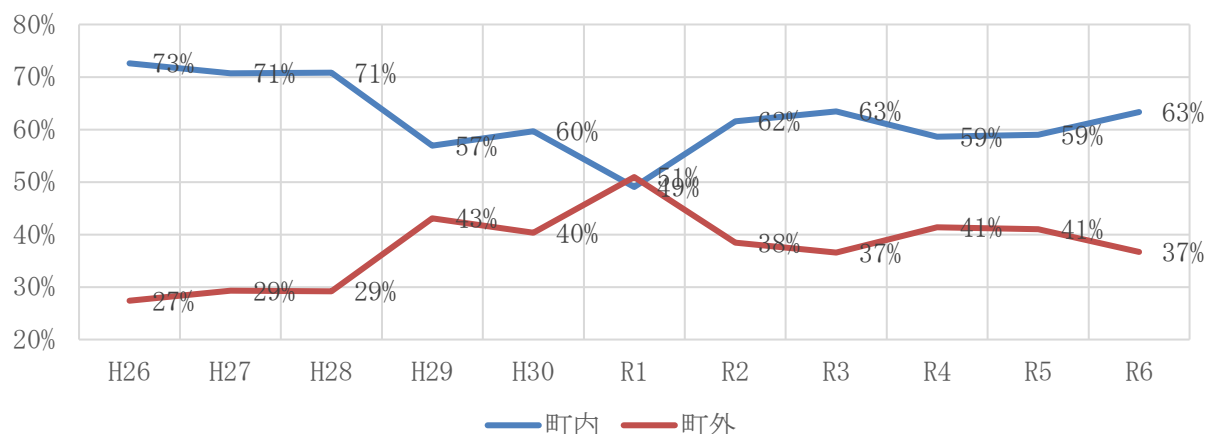
<普通科>



参考 <【学科別】入学者に占める町内外別の比率（推移）>



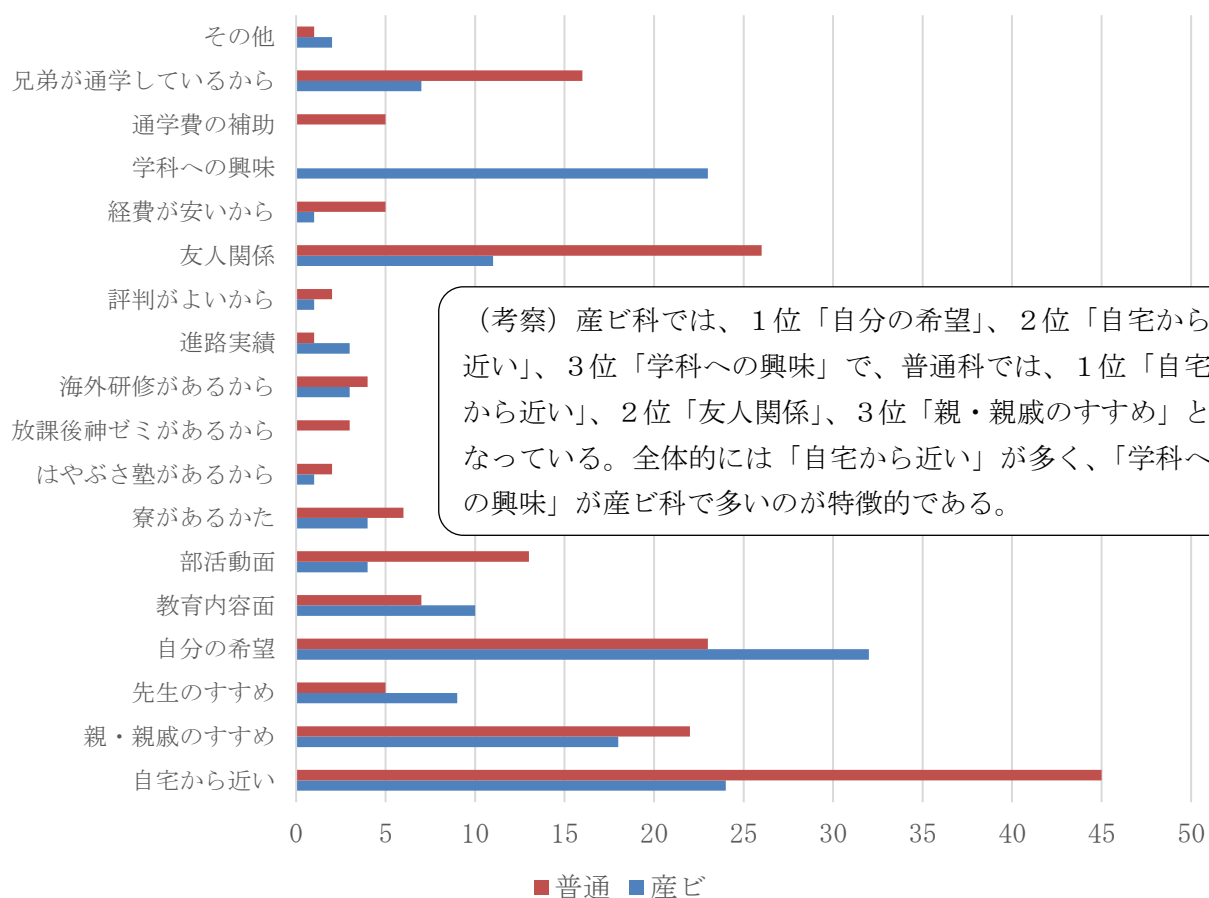
参考 <【全体】入学者に占める町内外別の比率（推移）>



（考察）全体的には、約 6 対 4 で町内生徒が多いが、学科別でみると産ビ科の町外生徒が約 6 割と多い。中高一貫教育校になる前は、普通科への町外入学生は少なかったが、年度によって増減はあるものの約 2 割が入学している。

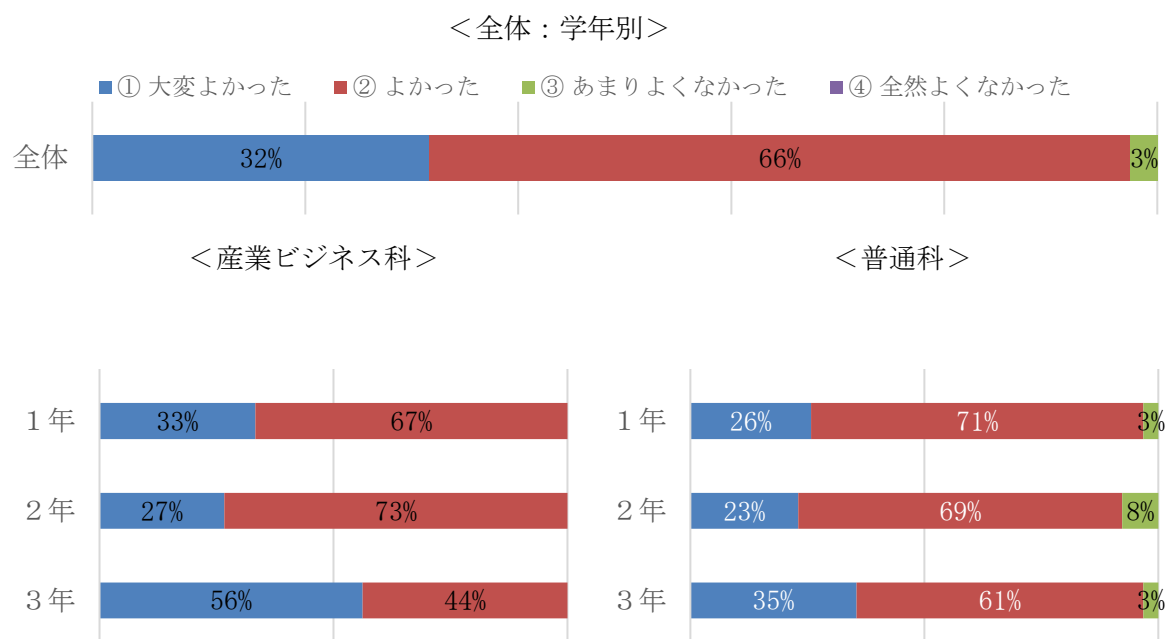
町内中学校の生徒数が減少する見込みであり、町外からの入学者の確保が今後も必要である。

2 あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか、該当するものを全て選んで下さい。
（複数回答可）



（考察）産ビ科では、1 位「自分の希望」、2 位「自宅から近い」、3 位「学科への興味」で、普通科では、1 位「自宅から近い」、2 位「友人関係」、3 位「親・親戚のすすめ」となっている。全体的には「自宅から近い」が多く、「学科への興味」が産ビ科で多いのが特徴的である。

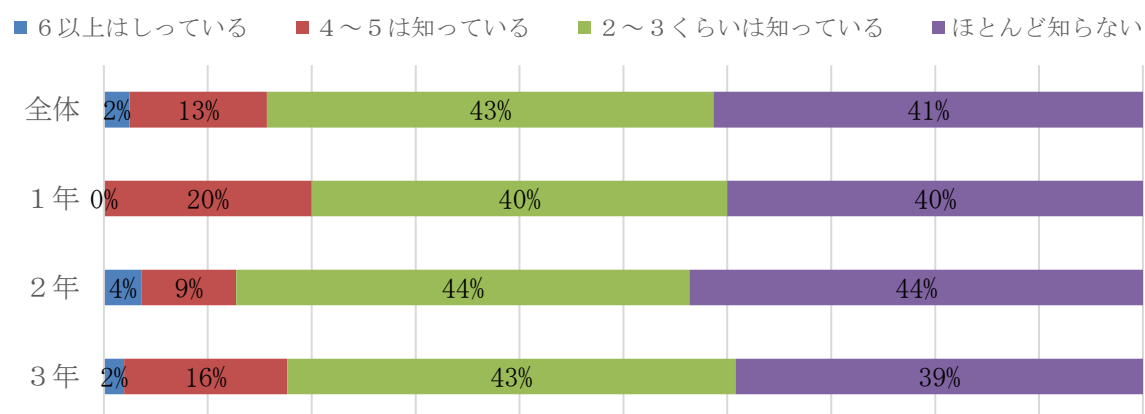
③ あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



（考察）昨年度と比較でみると、産ビ科の肯定的回答は（昨年 94%→100%）、普通科は（昨年 86%→95%）という回答であった。一方「よくなかった」とする生徒は、普通科に 5%（4 人）であった。

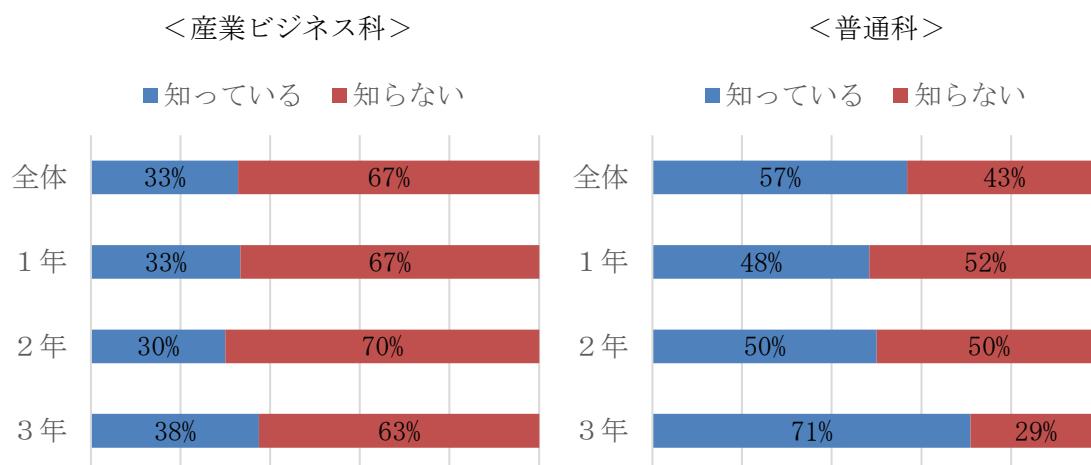
④ 本町では、油木高校の教育充実のために色々な支援を行っていますが、そのことについて次の質問に答えて下さい。

（１）本町では本年度「油木高校生への 8 つの支援」を実施していますが、内容について知っていますか。

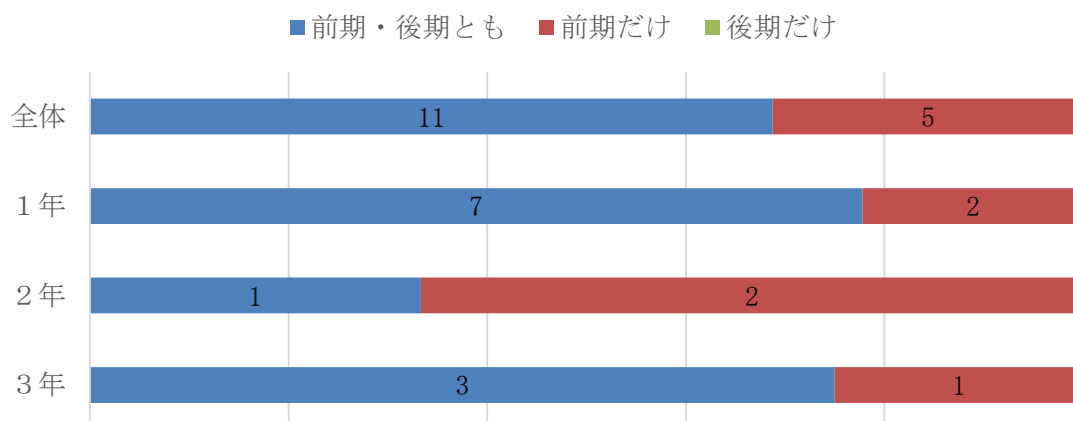


（考察）「6 以上は知っている」が全体で 2%（昨年 5%）と認知度が非常に低い。中でも「ほとんど知らない」が 41%（昨年 34%）であり、リーフレット等で生徒並びに教職員へ周知しているが、今後一層の周知活動に努めながら、油木高校の魅力をアピールしていく必要がある。

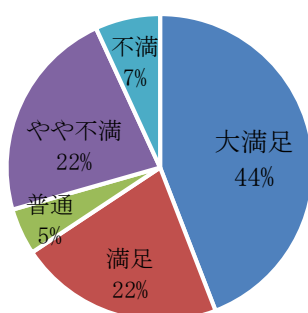
(2) **Q 1** 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。



Q 2 本年度「はやぶさ塾」に参加した人だけ答えて下さい。あなたの受講状況を教えてください。



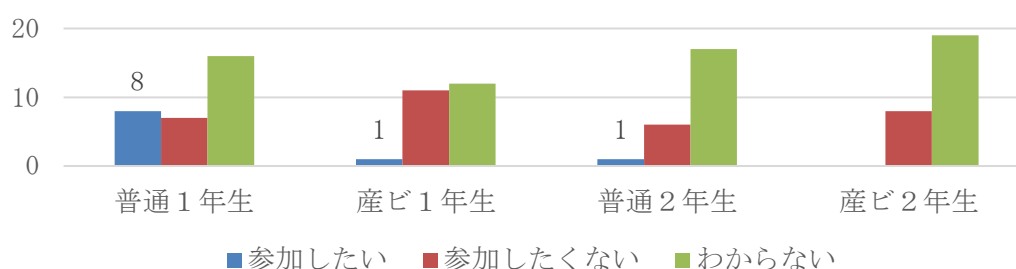
Q 3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ答えて下さい。参加してみての感想はいかがですか。



(考察)「はやぶさ塾」での指導方法や内容に係る周知度は学科によってかなりの差があるが、町内中学3年生は体験塾を自校で実施しているため普通科の周知度は高い。

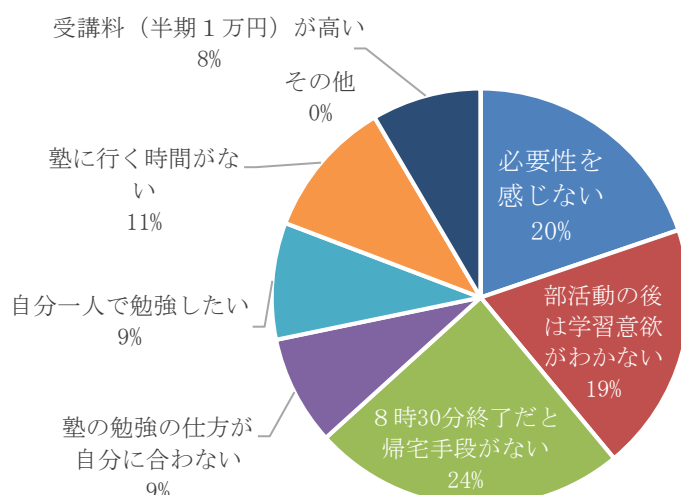
塾生が減少しており、改善策を塾側や学校と協議しながら取り組んでいく必要がある。受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価は66%（昨年：44%）と評価は昨年よりも高くなった。受講者が満足感をもって、多くの生徒が受講するよう、塾側や学校と十分検討した上で、今後の取組を進める必要がある。

Q4 1、2年生のみ答えて下さい。来年度、「はやぶさ塾」に参加しますか。



(考察) 現時点での「受講希望者」は9人(昨年: 8人)とかなり少ない。はやぶさ塾の運営を見直す必要がある。

Q5 「はやぶさ塾」に参加していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい。



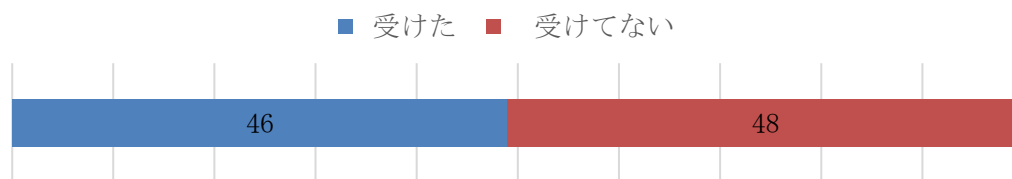
(考察) 「参加していない理由」の多くは、1位「8時30分終了だと期待手段がない」、2位「必要性を感じない」3位「部活動の後は学習意欲がわからない」といったもので、例年とあまり変わりはない。

(3) 本町では油木高校生に対して各種検定受験料の補助(合格者のみ)をしています。令和6年2月～令和7年1月の期間で、これらの制度を利用したことがありますか。

	普通科				産業ビジネス科				総計(人)
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定	13	5	9	27	4	4	3	11	38
漢字検定	7	5	6	18	5	-	-	5	23
数学検定	1	-	-	1	1	1	-	2	3
小型車両系建設機械(整地等)小型フォークリフト特別教育講座	-	-	2	2	-	7	8	15	17

(考察) 科ごとに利用者数の違いはあるが、両学科共に英検・漢検・小型車両系建設機械・小型フォークリフト特別講習の利用者があった。しかし、数学検定は両学科ともに少数であった。

(4) 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。



(約半数が利用している)

(5) 次の質問については、1、2年生のみ答えて下さい。

Q 1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

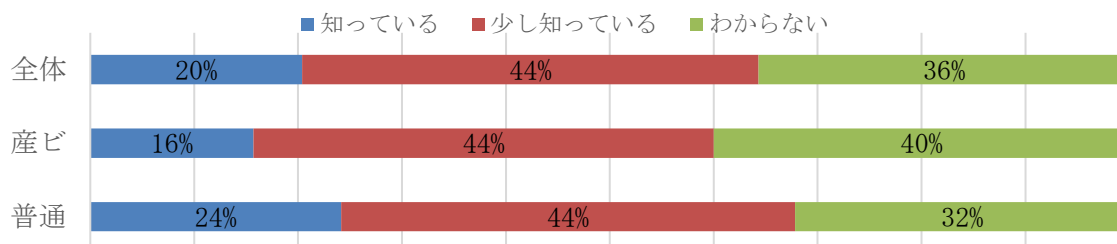
	普通科			産業ビジネス科			合計
	1年生	2年生	計	1年生	2年生	計	
希望あり	10人	7人	17人	4人	4人	8人	25人
希望なし	12人	7人	19人	15人	13人	28人	47人
わからない	9人	10人	19人	5人	13人	18人	37人

Q 2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。

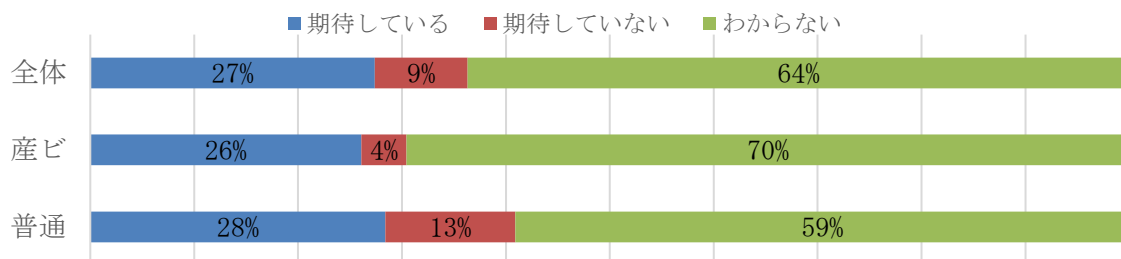
	普通科			産業ビジネス科			合計(人)
	1年生	2年生	計	1年生	2年生	計	
短期(2週間)	11	7	18	2	4	6	24
長期(10週間)	1	-	1	2	-	2	3

(考察) 現段階で「参加希望有り」と回答した生徒は25名(昨年19名)で、定員数を多く超えている。

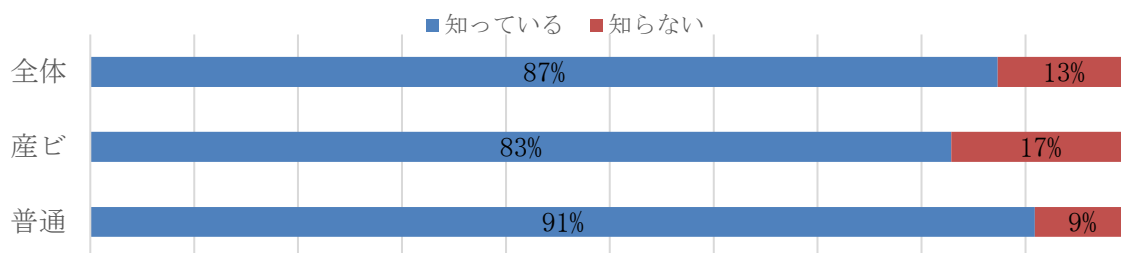
(6) **Q 1** 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために「油木高校魅力化+(プラス)プロジェクト」に取り組んでいます。その具体策(「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など)を現在、実施中ですが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。



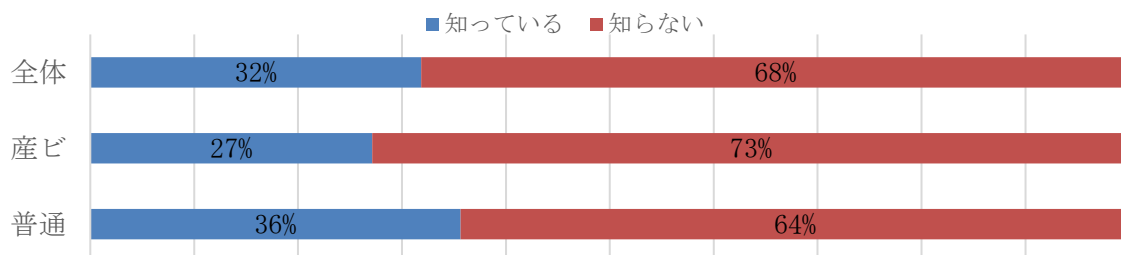
Q2 「油木高校魅力化＋(プラス)プロジェクト」に期待感をもっていますか。



(7) Q1 放課後「神ゼミ」が実施されていることを知っていますか



Q2 放課後「神ゼミ」では、どんなことをしているか知っていますか。



(考察) 油木高校魅力化＋(プラス)プロジェクトの前年度認知度は 66%であったが、本年度は 64%で前年とあまり大差はない。「神ゼミ」の認知度は 87%と高いものの参加者数が少ない。

Q3 本年度、放課後「神ゼミ」を受講したことがありますか。 ※()内は昨年度の人数

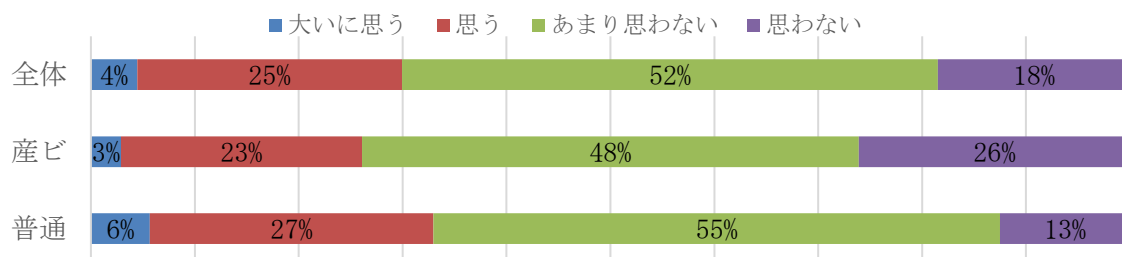
	産業ビジネス科	普通科	計
1 年生	0 (2)	1 (2)	1 (4)
2 年生	1 (0)	4 (3)	5 (3)
3 年生	0 (4)	1 (7)	1 (11)
計	1 (6)	6 (12)	7 (18)

Q4 放課後「神ゼミ」を受講した人は、どんな感想をもちましたか。

	大変勉強になる		勉強になる		あまり勉強にならない		勉強にならない	
	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通
1 年生		1	1		1			1
2 年生	1	2	2	2	1		2	
3 年生		1				1	1	
計	1	4	3	2	2	1	3	1

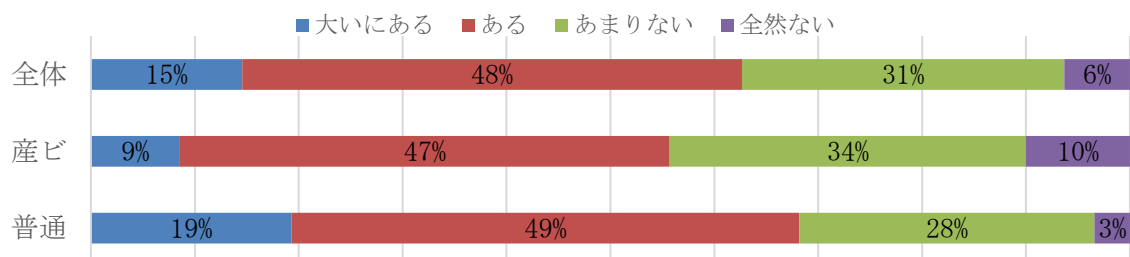
(考察) 放課後「神ゼミ」の認識度は増加しているようであるが、どのような活動をしているのか内容の理解がまだ少ない。指導者は生徒に色々な声掛け、仕掛けをしながら取り組んで切るが、活動実績の見える化等により、今後も粘り強く受講者を増やす取り組みを考えていく必要がある。放課後「神ゼミ」は、「油木高校魅力化+（プラス）プロジェクト」の重要な取り組みであることから、より多くの生徒が受講する工夫が必要である。

5 (1) あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。



(考察) 全体では、「大いに思う」が4%と1割に満たない。「思う」は25%で、肯定的回答は約3割である。一方、「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答は約7割を占めている。学科別においては、「大いに思う・思う」が、産ビ科生が低く、「思わない」高い傾向にある。産ビ科生の約6割が町外生であることが影響していると考えられる。

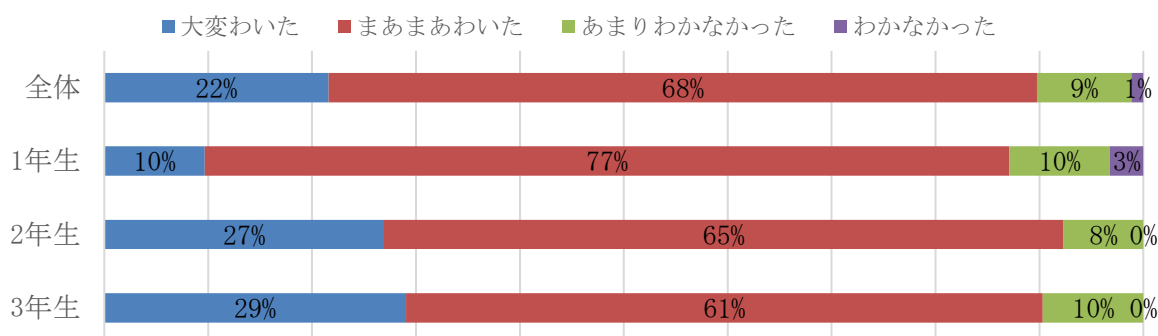
(2) あなたは、自分の地元に貢献したいという気持ちがありますか。



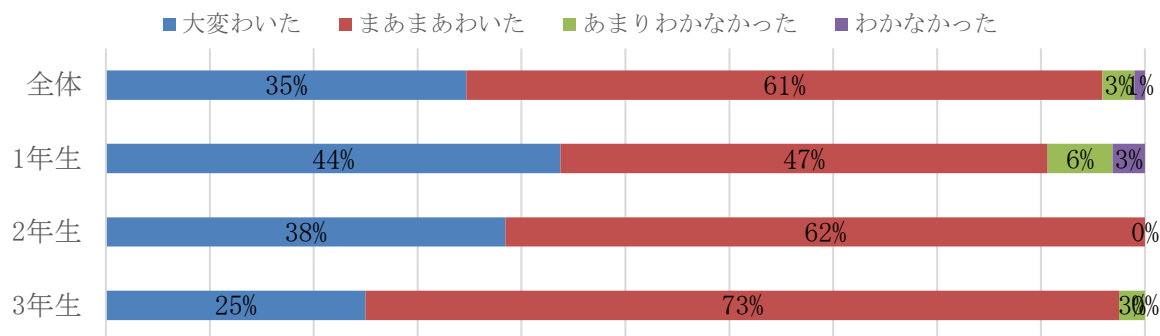
(考察) 全体では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が15%（昨年20%）で、「ある」を含めた肯定的回答は63%（昨年63%）で昨年度と同じ傾向である。学科別では、地域貢献意欲が「ある・なし」の割合では、やや普通科の肯定的回答率が高い。

6 本年度の「総合的な探究の時間」について質問します。（普通科1～3年生のみ）

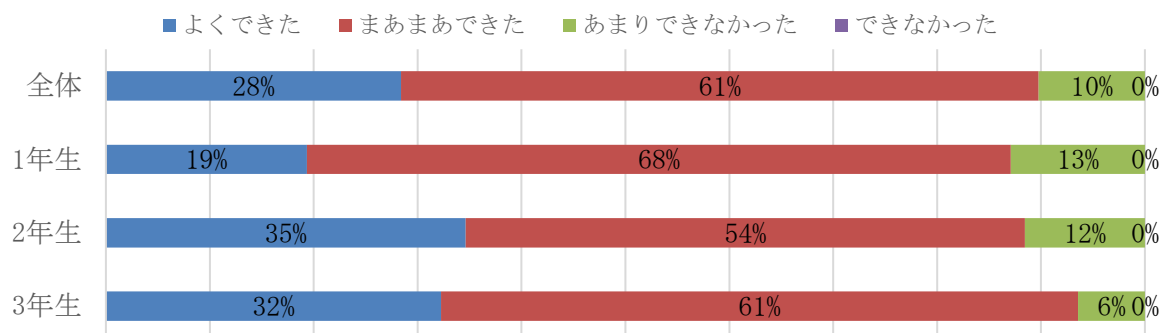
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。【興味・関心・意欲】



(2) 授業内容は分かりましたか。【理解度】



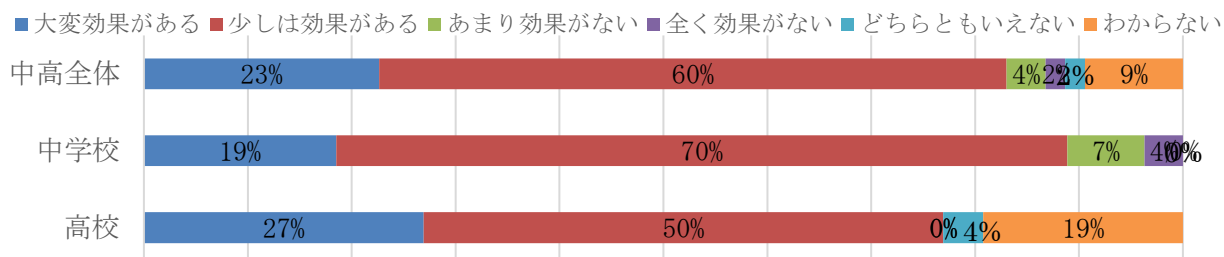
(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。【態度・活動面】



(考察) 普通科の全学年に「総合的な探究の時間」について、(1)で【興味・関心・意欲】、(2)で【理解度】、(3)で【態度・活動面】をそれぞれに質問したのですが、基本的にはどの項目についても70%以上の肯定的回答であった。その中で、(2)理解度、(3)態度・活動面は9割の生徒が肯定的回答で高い自己評価をしていた。

3. 町内中学校・油木高校教職員 編

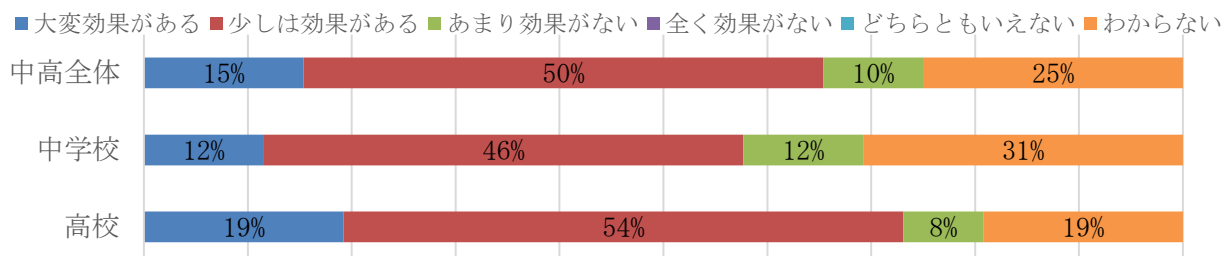
- 1 本町では油木高校のピーアールや魅力化のために、広報紙「中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」、
「神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援」、「油木高校ガイドブック」などを作製し、町
民や関係保護者に配布していますが、これらのことについてどう思われますか。



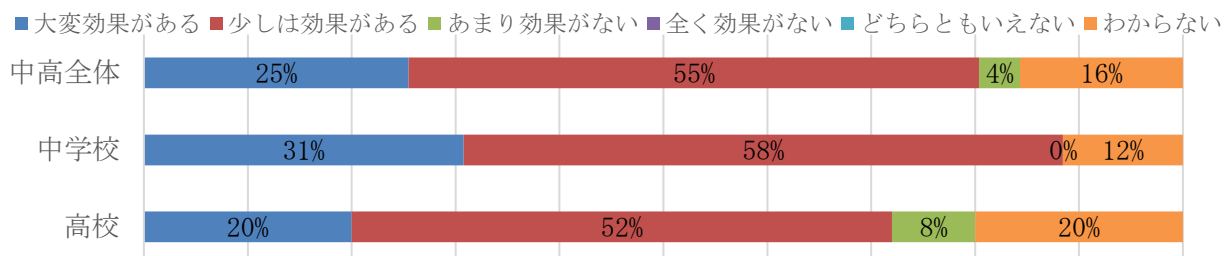
(考察) 全体では、「大変効果がある・少しは効果がある」の肯定的回答は83%（昨年90%）で多くの方が評価されている。引き続き、油木高校に係る情報は、町民や関係保護者等に知らせていくことは必要であると考えます。

- 2 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

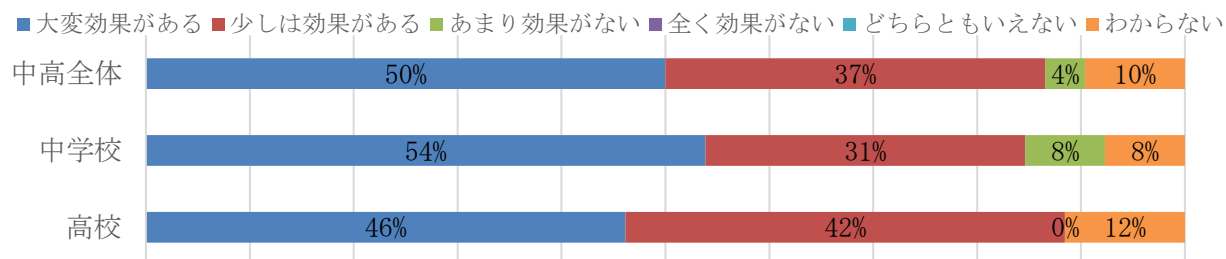
(1) 定例的な交流授業（高→中：英語、中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。



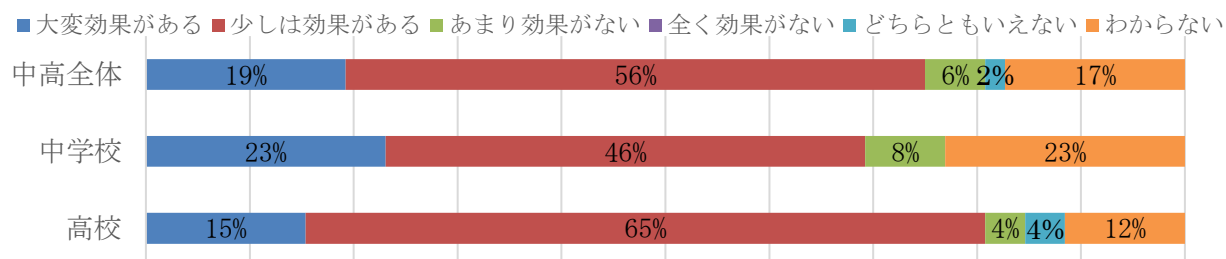
(2) 部活動交流について、どう思われていますか。



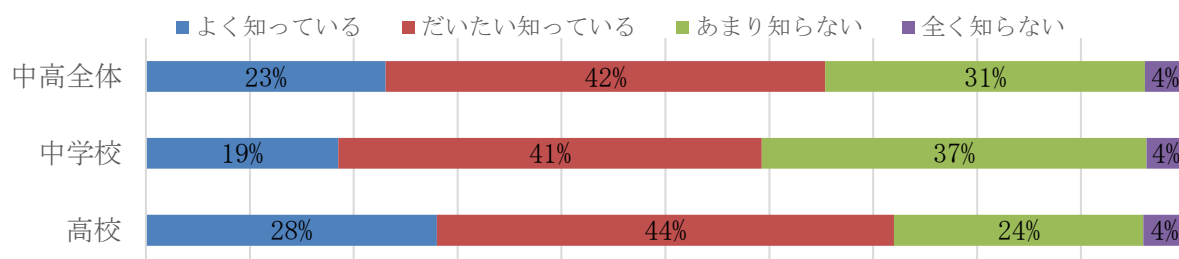
(3) 学校行事（オープンスクール・学習成果発表会など）への参加について、どう思われていますか。



(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。

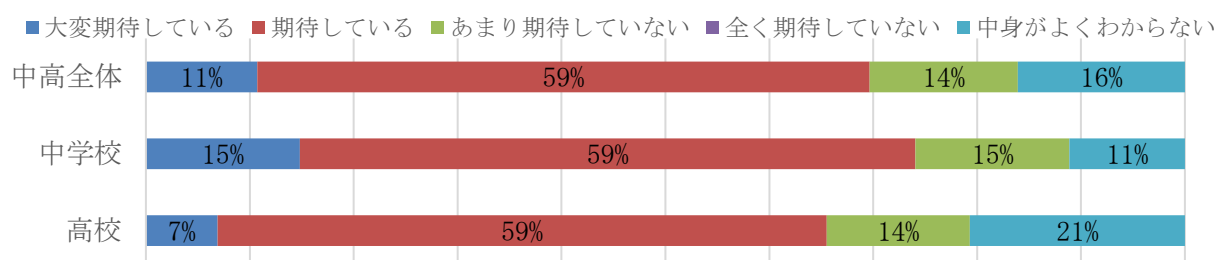


③ 本町と油木高校では、「油木高校魅力化＋（ぷらす）プロジェクト」に取り組んでいます。その取組内容を知っておられますか。



（考察）「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」の取組内容の認知度は、前年度比較では、高校は 72%（昨年 62%）、中学校では 60%（昨年 42%）となり、昨年度より 10 ポイント以上高くなっている。

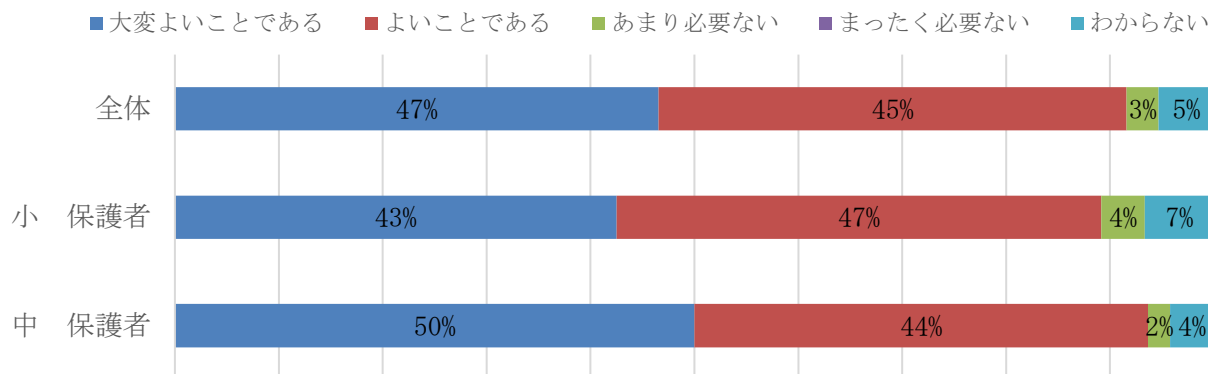
④ 「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」では、「総合的な探究の時間」にその地域や学校でなければ学べない独自のカリキュラム開発に取り組み、地域と連携した「地域課題発見・解決型キャリア教育」を推進しようとしています。そのことにどの程度期待感をもっておられますか



（考察）中高全体では、「大変期待している」・「期待している」の肯定的回答が 70%（昨年：77%）と昨年よりやや下がったものの高い評価で、期待度の高いことが伺われる。

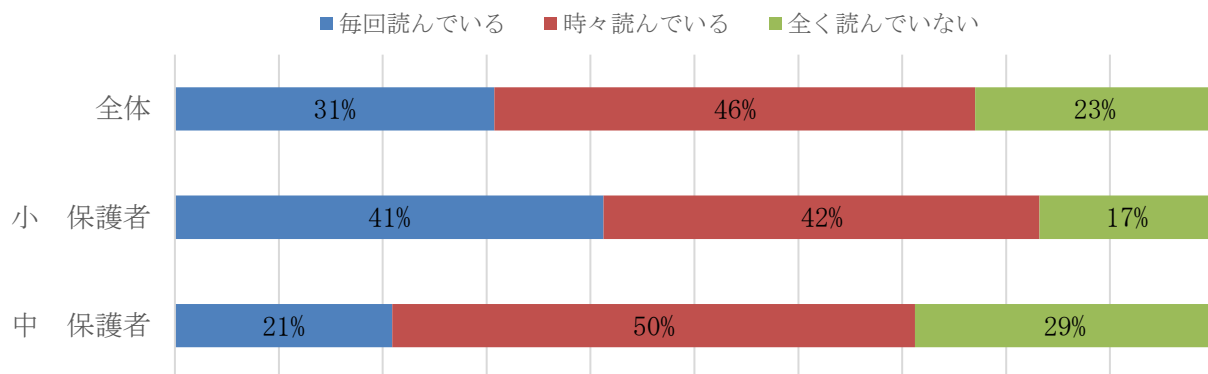
4. 小学校(4～6年生)・全中学校 保護者 編

- 1 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



（考察）全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答 92%（昨年 90%）と非常に高い評価である。今後も関係保護者への情報提供は、広報紙『中高一貫教育ジャーナル高原の風』で連携教育の取組みを紹介したり、ケーブルテレビを活用した、一層の情報提供に努めていかなければならない。

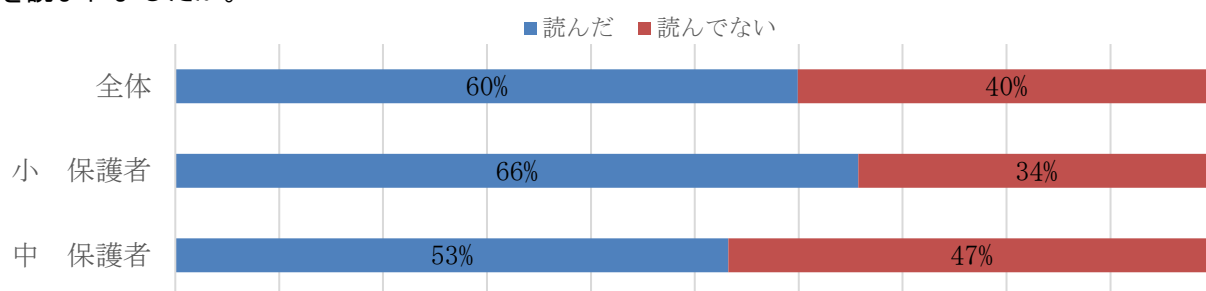
- 2 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」を年3回町内全戸に配布していますが、読んでおられますか。



（考察）多くの保護者にだいたい読んでいただいている肯定的回答は 77%（昨年 85%）で、「全く読んだことがない」は 23%（昨年 15%）と増加になった。

小学校保護者と中学校保護者を比較すると、小学校が低いのは、高校への関心度によるものと思われる。

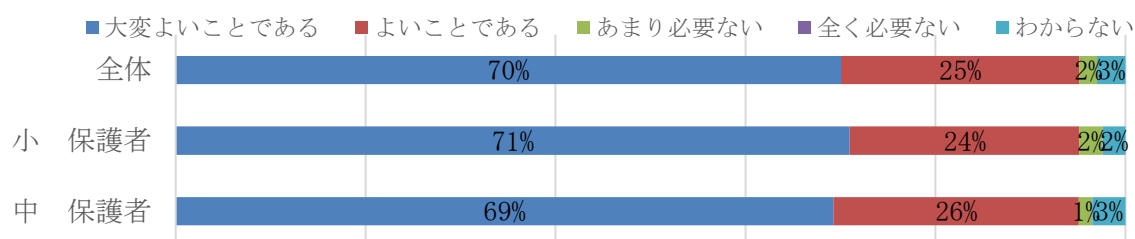
③ 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援』リーフレットを読まれましたか。



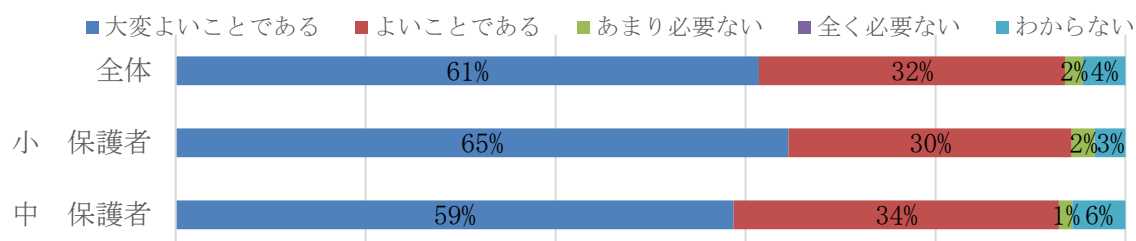
(考察) 全体としては、60% (昨年 61%) 読まれているが、「中高一貫教育ジャーナル 高原の風」よりも関心が薄いようである。この「油木高校生への8つの支援」は、油木高校の一つの魅力でもあるので、関係保護者にもっと知ってもらえるよう、今後もリーフレットの配布は継続し、尚且つ高校進路説明会などでも高校や町からのPRをしていく必要がある。

④ 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

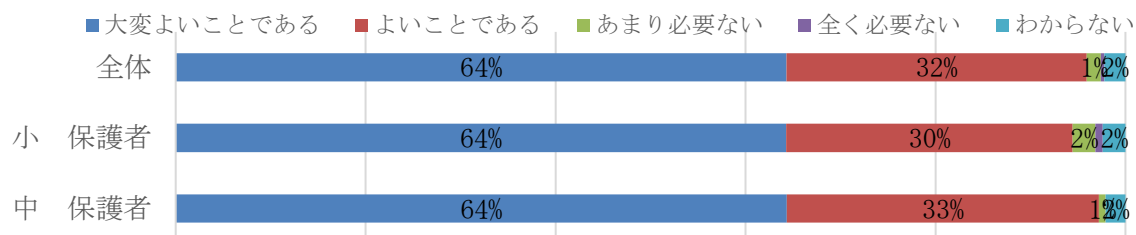
(1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。



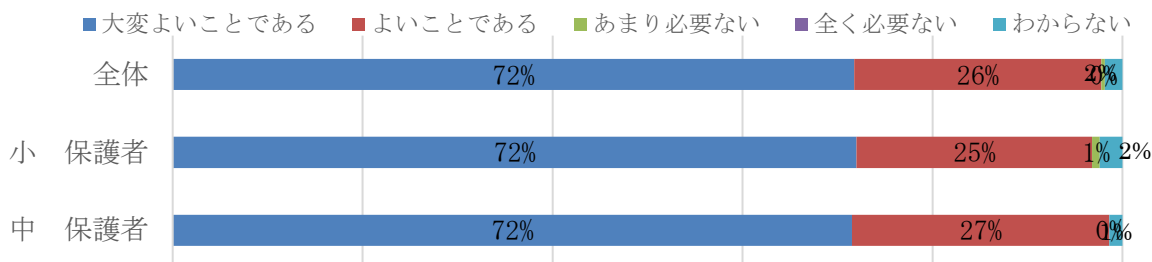
(2) 油木高校内での学習支援塾（はやぶさ塾・神ゼミ）の開設について、どう思いますか。



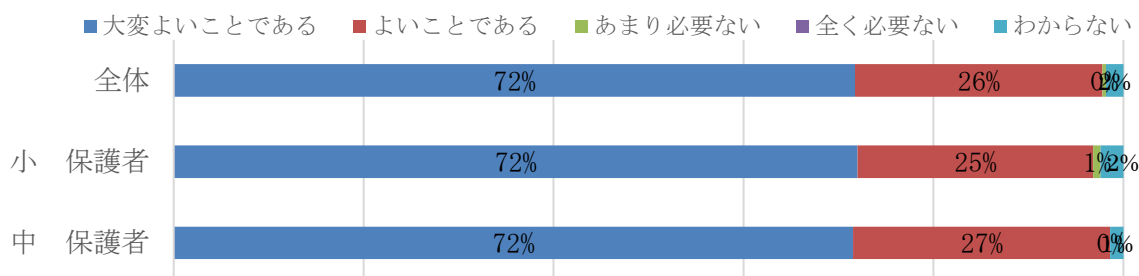
(3) 海外（短期・長期）研修事業への支援について、どう思いますか。



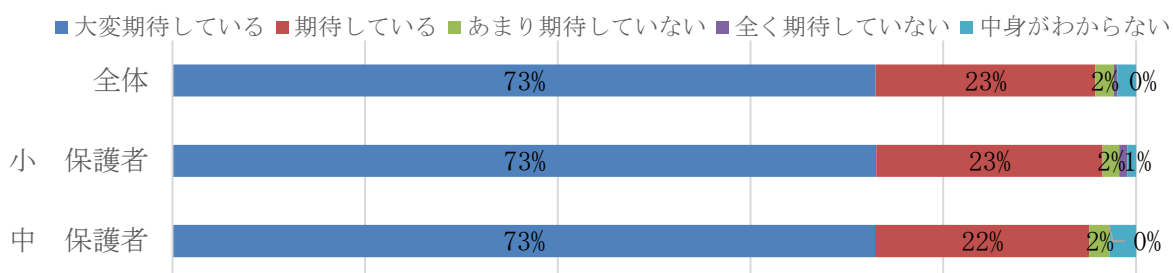
(4) 各種検定受検料の補助（ただし合格者のみ）について、どう思いますか。



(5) 町外生徒へのバス定期券購入補助

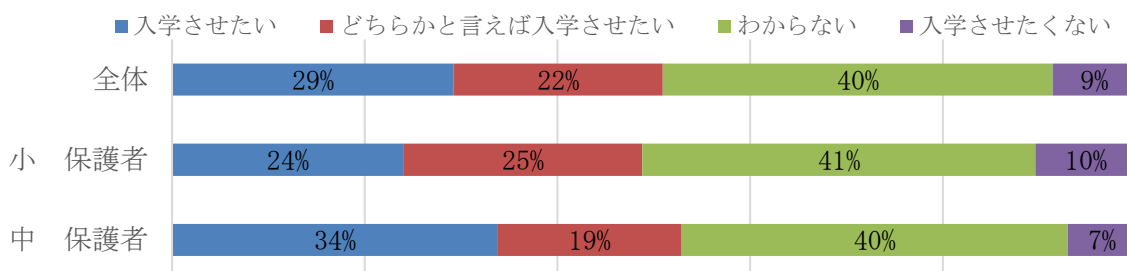


5 本町では現在、「油木高校魅力化+（プラス）プロジェクト」に取り組み、具体策（総合学習のカリキュラム開発・放課後「神ゼミ」など）を実施中ですが、この事業にどの程度期待感を持っておられますか。

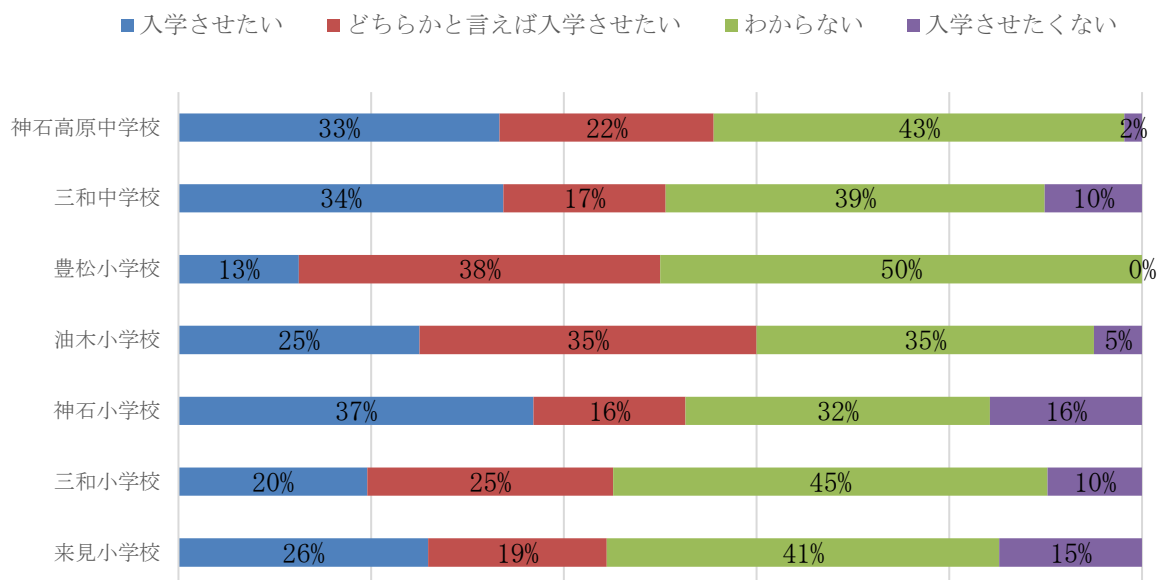


（考察）本年度もすべての項目で、9割以上が「大変よい・よい」の肯定的回答で、非常に高い評価を受けている。今後とも支援制度の維持や中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに期待がかかっている。

6 (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



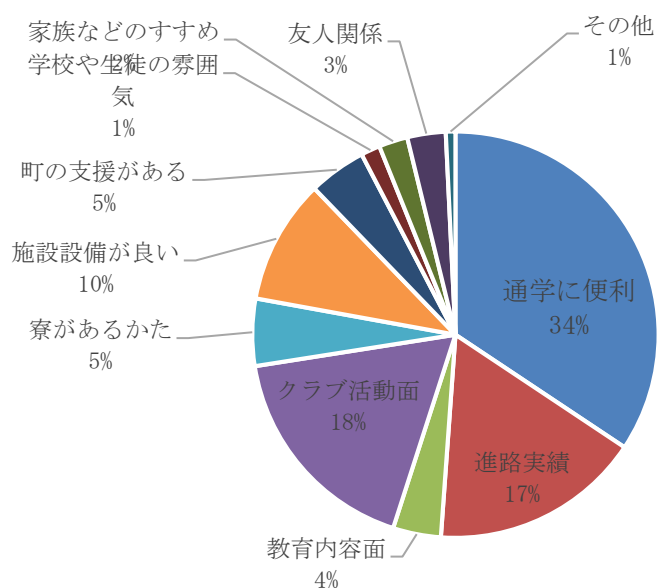
<学校別>



（考察）全体としては、「入学させたい」肯定的回答は51%（昨年53%、一昨年52%）、「入学させたくない」は9%（昨年11%、一昨年8%）で横ばいである。

小中学校別では、「入学させたい」は中学校が多い。これらは高校進学時期の年齢差からくるものと思われる。各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が昨年度は1校であったが、本年度は3校となった。中学校において、両校とも「入学させたい」回答率は50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が40%あり、今後「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「入学させたい」or「どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思うものを選んでください。（複数回答可）

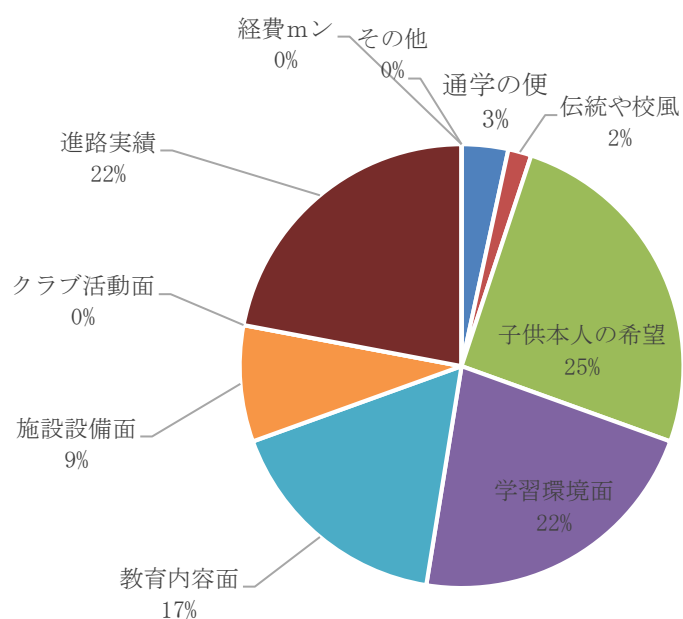


（考察）油木高校を選択する理由は、多いものとして、1位「通学に便利」と2位「クラブ活動面」3位「進路実績」が多かった。

これらのことから「通学の便」の重要度が高く、遠距離から通う生徒を引き続き支援する必要がある。

また、「進路実績」を重要視する保護者も多いことから、引き続き進路実績を上げることが必要である。

(3) 上記 6 (1) の質問で「入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。次の中から最も重要視したいものを2つ選んで下さい。

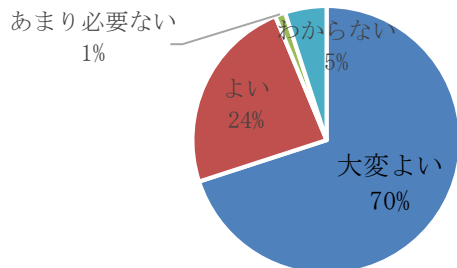


(考察) 入学させたくない理由の多いものとして、1位「子供本人の希望」、2位「学習環境面」3位「教育内容面」が多かった。

高校魅力化の取組みにより、入学させたいと思える保護者を増やす取り組みが必要である。

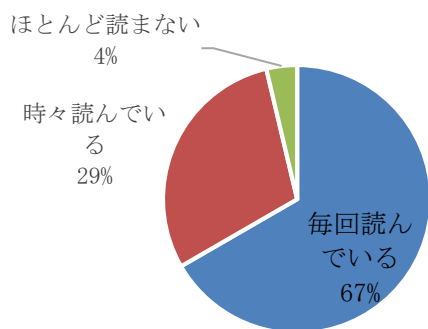
5. 町内地域 編

- 1 現在、油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



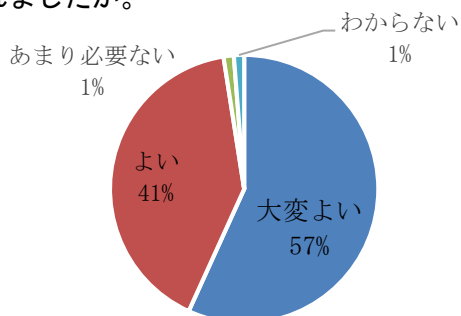
（考察）地域のほとんどの方々（94％）は、中高連携教育を「大変よい・よい」とする肯定的回答で、「必要ない」との否定的回答は１％であったが、今後更なる中身の充実を図り、情報提供を継続していく必要がある。

- 2 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」を年３回町内全戸に配布していますが、読まれていますか。



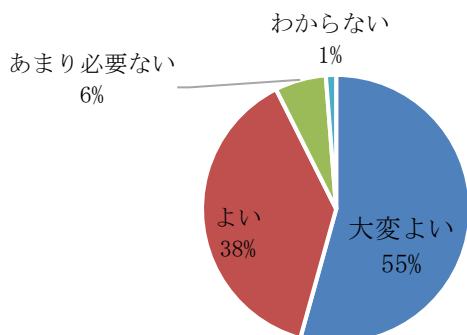
（考察）「読んでいる」が96％で多くの方々に読んでいただいている。一層「毎回読んでいる」が向上していくよう中身の充実を努めていかなければならない。

- 3 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への８つの支援』リーフレットを読まれましたか。



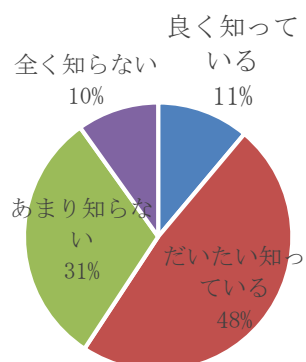
（考察）各項目とも「大変よい・よい」を合わせて98％で肯定的回答が非常に多い。数値が示すように、地域住民の期待は大きいため、今後もこれらの支援は継続していく必要がある。

- 4 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。



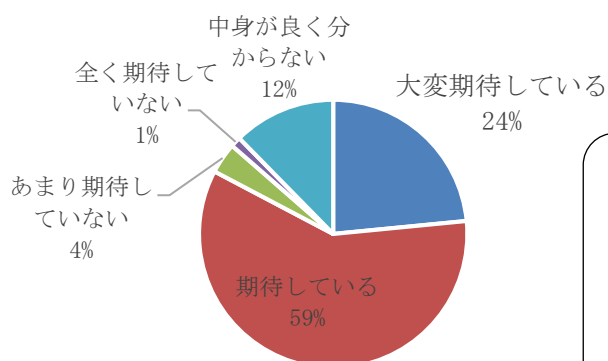
（考察）各項目とも「大変よい・よい」を合わせて93％で肯定的回答が非常に多い。数値が示すように、地域住民の期待は大きいため、今後もこれらの支援は継続していく必要がある。

- 〔5〕 本町では現在、「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」に取り組み、その具体策（総合学習の
カリキュラム開発・放課後「神ゼミ」など）を検討し、実施しているところですが、その取組内容をご
存じですか。



（考察）「知っている・だいたい知っている」との肯定的回答は 59%（昨年：54%）と 5 ポイント上昇している。「あまり知らない・全く知らない」が 41%（昨年：46%）で、引き続き広報紙や学校ホームページ等で情報提供していく必要がある。

- 〔6〕 「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」では、「総合的な探究の時間」にその地域、学校でなければ学べない独自のカリキュラム開発に取り組み、地域と連携した「地域課題発見・解決型キャリア教育」を推進しているところですが、そのことにどの程度期待感をもっておられますか。



（考察）地域全体では、「大変期待している・期待している」の肯定的回答が 83%（昨年 83%）と前年と同じである。これは、油木高校への期待度でもあり、「油木高校魅力化＋（プラス）プロジェクト」の取組を一層充実させていく必要がある。

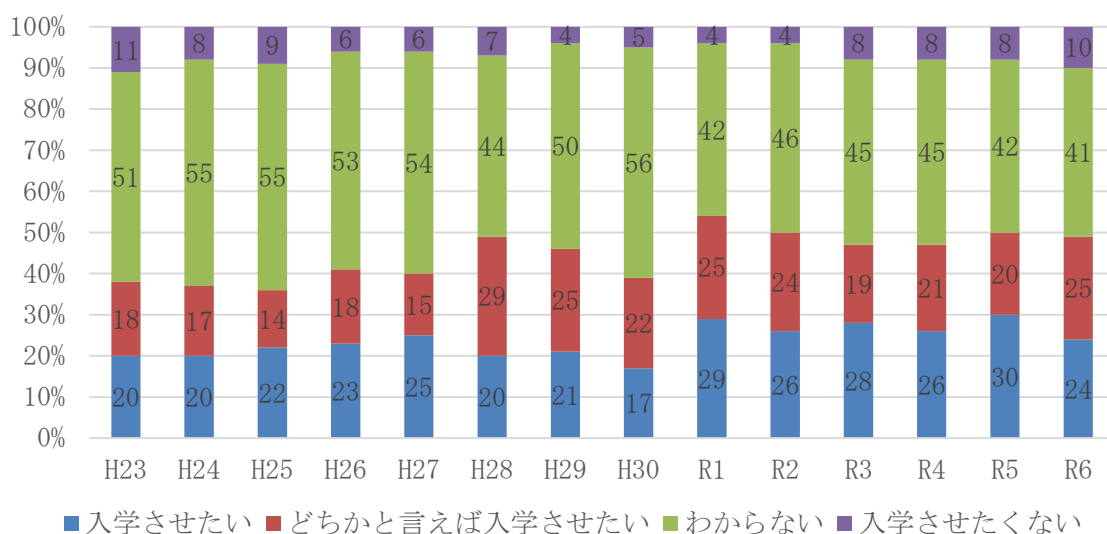
また、取組内容や進捗状況を地域・関係者等へ情報提供をしていく必要がある。

6. 資料（アンケート結果の推移、入学率等の推移）

＜連携型中高一貫教育に係るアンケート調査結果の推移＞

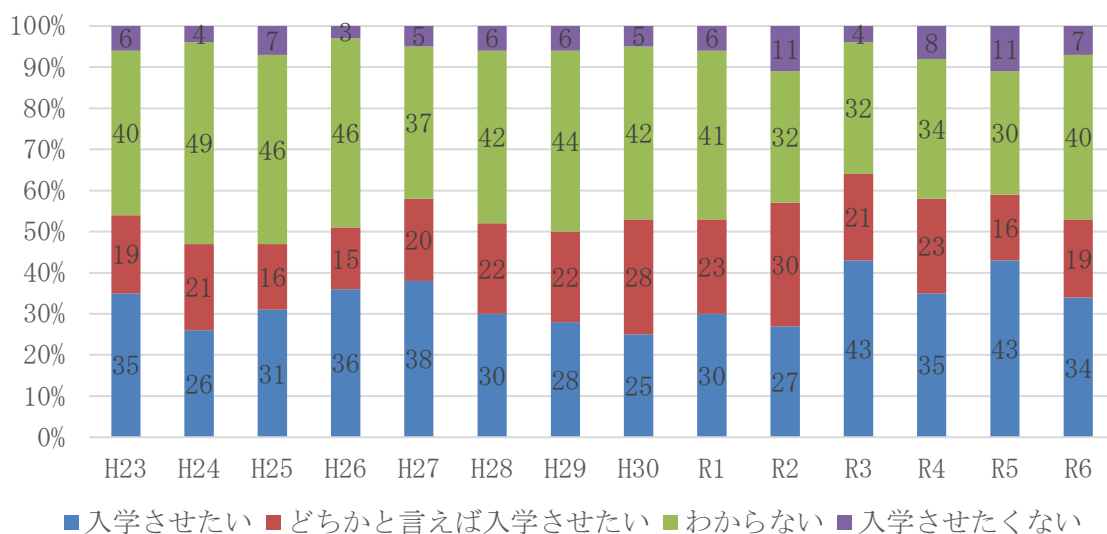
あなたのお子さんを油木高校に入学させたいと思いますか。

【小学生保護者（４～６年）】



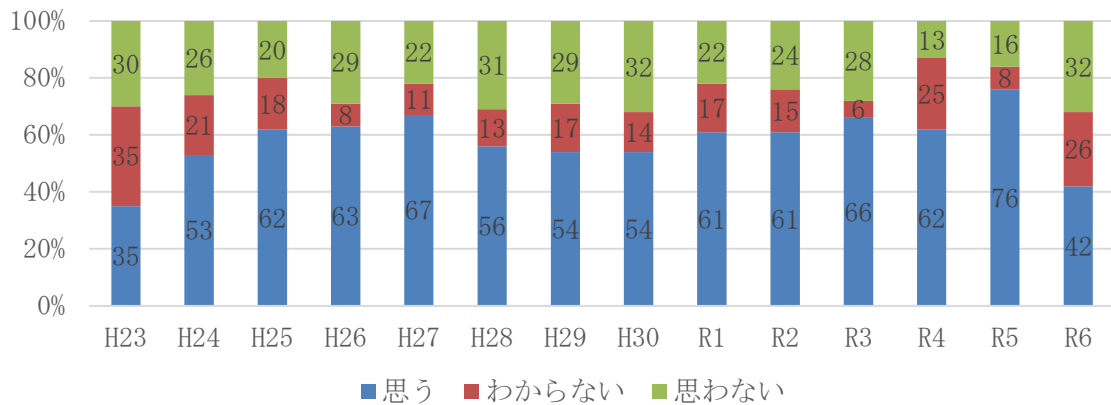
あなたのお子さんを油木高校に入学させたいと思いますか。

【中学生保護者】



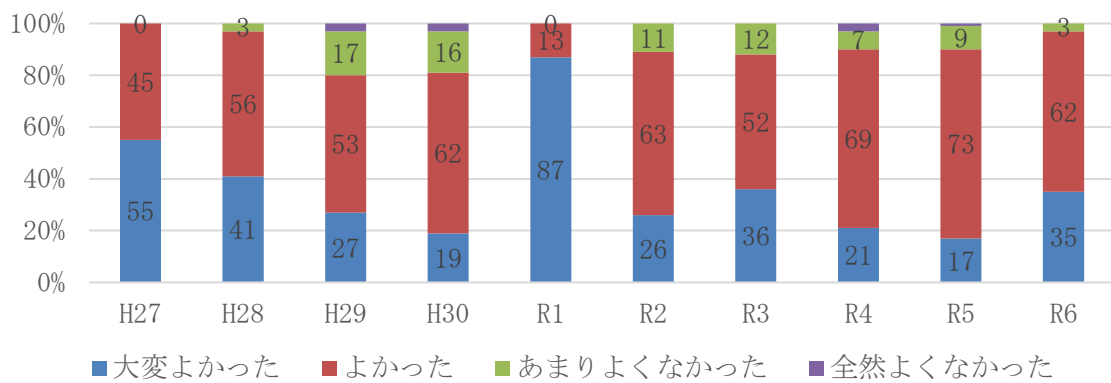
あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

【中学3年生】



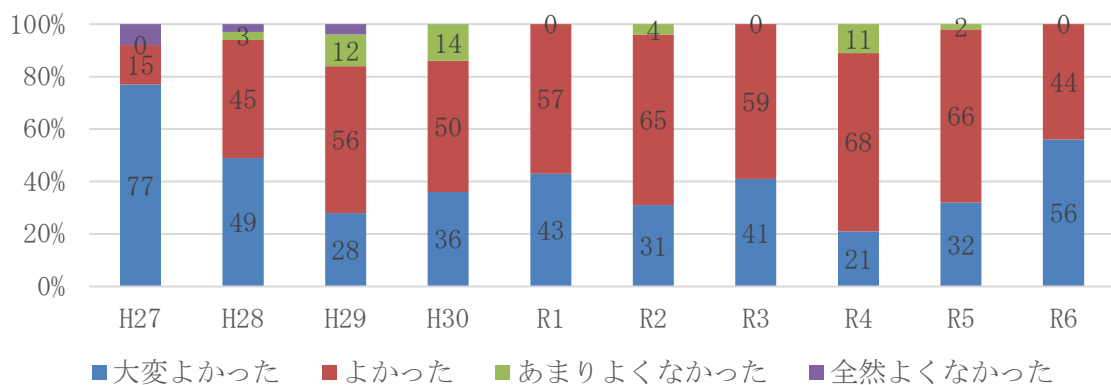
あなたは油木高校に進学して、どうでしたか。

【普通科3年生】



あなたは油木高校に進学して、どうでしたか。

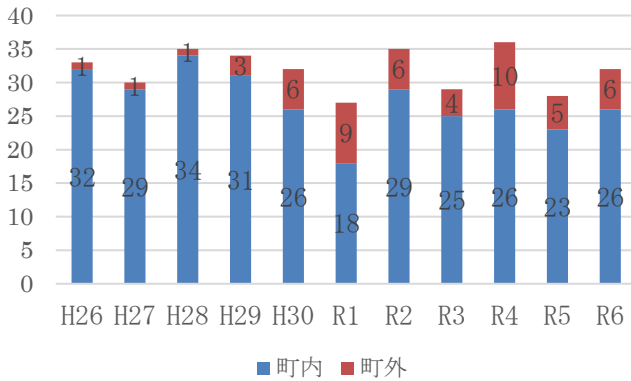
【産業ビジネス科3年生】



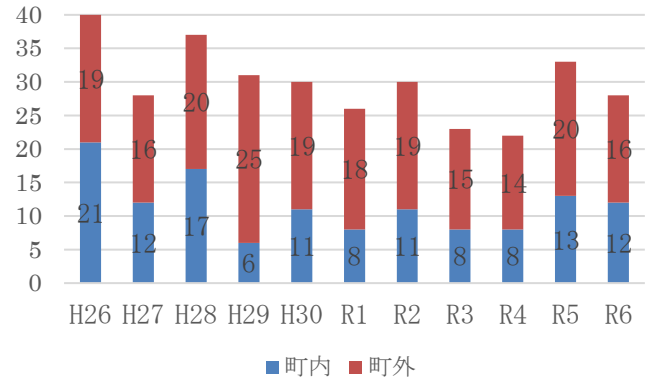
＜油木高校の入学年度別、入学率等の推移＞

入学者数（学科、町内外別）

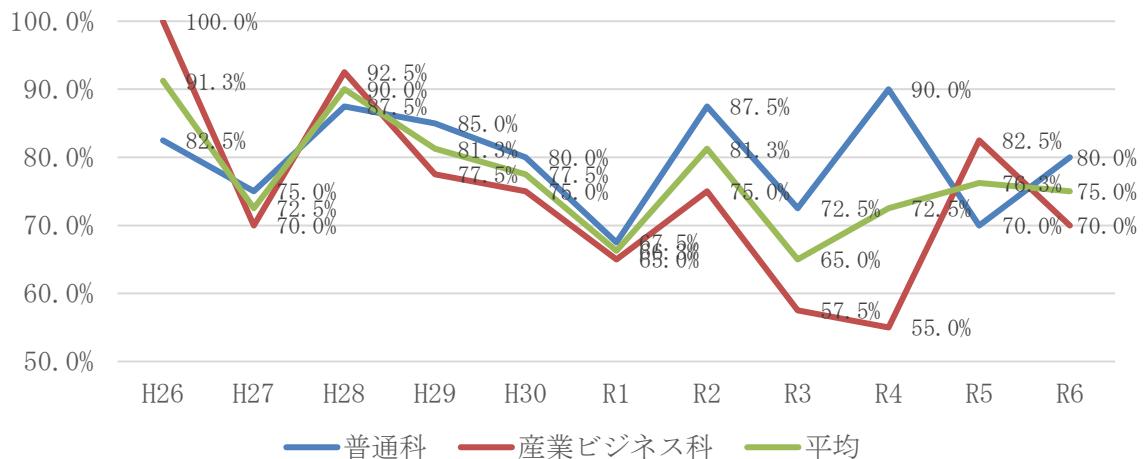
＜産業ビジネス科＞



＜普通科＞



入学率（入学者数÷定員）×100



地元率（町内入学者÷町内中学校卒業者数）×100

